

# 「究極の映画館をつくろう！」

## VIVISTOP 博多でのこどもたちのプロジェクトに参加しました。



\*ふせんを使ったアイデア出し

\*VIVISTOP 博多は  
こどもたちのためのものづくり空間。  
JR 博多シティの一角にあります。

●こどもたちの「やってみたい！」をIT活用しながら後押ししているVIVISTOP 博多の「究極の映画館をつくろう」プロジェクトにこども家庭庁の職員が参加しました。

15人のこどもたちが映画のコンセプト、シナリオづくりをゼロからスタートし、時には専門家の力も借りながら、上映する映画館までつくって上映しよう、という8か月間のプロジェクトです。

●こども家庭庁職員は、撮影した映像の仮編集をいっしょに見て、「ストーリーをもっとわかりやすくするためには、どうしたらいいか」「この映画をどんな映画館で見たらおもしろいのか」をこどもたちが話し合うところから参加、こどもたちの「本気の熱気」を肌で感じるとともに、こどもたちの中に入ってアイデア出しのサポートを体験しました。



\*映画のタイトルは

「チェックメイト 家族の仮面ははがせない」

仮面チェス大会を題材に、両親を仲直りさせようと兄妹が画策するサスペンスタッチ。

●そして、2月。お披露目の上映会。会場のVIVISTOP博多には揃いのスタッフTシャツを着たこどもたちと一般の招待客、そして映画づくりに関わった大人たちも集まりました。

映画を見る前から映画を見終わり映画館を出るまで「ストーリーがよくわかるように」「自分たちの伝えたいことが伝わって、おもしろいと思ってもらえるように」というこどもたちの工夫が各所にちりばめられていました。



●記者会見も行われ、こども家庭庁職員からの「いちばん大変だったなと感じたことはなんですか？」の質問にも、「自分たちがおもしろいと思うものをつくるだけじゃだめで、見た人が面白いと思ってもらうためにすごく考えた」「やってみたいと思っていたシナリオを書いてみて、とても大変だったけどいままでいちばん達成感があった」といったコメントが。15人のメンバー全員がとても誇らしげでキラキラした表情で、

たった数か月のあいだでのこどもたちの成長に驚くとともに、こどもたちの「やりたい気持ち」を後押しすることの大切さを

あらためて感じる事ができた取組となりました。

\*ひとりひとり、達成感あふれる表情です

\*工夫を凝らした演出で  
極上のエンターテインメントに



【概要】名称:「VIVISTOP 博多 究極の映画館をつくろう」プロジェクト / 場所:VIVISTOP HAKATA (JR 博多シティ 10 階) / 日程:令和5年 11月12日(日) 令和6年2月25日 / 主催:VVIVISTOP HAKATA 福岡市 / 後援:こども家庭庁